

# 第5学年 図画工作科 学習指導案

## 題材名：「ぼく・わたしの音楽♪」

- 1 日 時 平成28年11月25日（金）
- 2 学 年 第5学年1組 男子4名 女子10名 計14名
- 3 場 所 第5学年1組 教室

### 学校教育目標

## 「自ら伸びる」児童の育成

### 【みる・かく・つくる】

「音楽」という目に見えないものを、「流れ」や「動き」、「リズム」「色の組み合わせ」などを考えた色や形に表すことができる。

de

### 【人づくり】

「音楽」という目に見えないものを線や色、形で表す活動を通して、自分らしい感性や表現力を身に付けることができる。

## 題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作の第5学年及び第6学年の、A表現（2）の「ア感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見つけて表すこと。」〔共通事項〕（1）「イ形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。」に重点を置く。

本題材は、普段目に見えない「音楽」を、筆を使って色や線の形を基に表現していく活動である。



児童にとっては音を色や形で表すことは難しく感じる児童もいるだろうと予想されるため、学習の中で聞いた音楽であり、曲調がはっきりしているものを選ぶ。

導入時には、音楽を聞きどのような曲調であったかを交流する。その後、出てきた曲調（明るい音楽、悲しい音楽など）を絵の具で表すにはどんな表し方があるかを自身のスケッチブックにかいていく。そのかいたものをイメージピクチャーカードとして、次時の音楽1曲を絵の具で表現する活動に活用していく。

## 児童の実態について

本学級の児童は1学期の間に図画工作の表現の活動として、立体物での表現活動やちぎり絵で表現活動等を行ってきた。また、2学期の初めに絵をかく活動を行った。ちぎり絵の学習では、地域の宝の「エヒメアヤメ」の絵を表現した。この活動では、ほとんどの児童が自分の思いを、色を中心に表

現することができていた。立体物の学習では、糸のこで切った板の形から想像して表現するという活動であったが、半数以上の児童が作りたいたいものに向かって板を切るという活動となってしまった。また、組み立ての活動の際には、何をつくったら良いか分からず手が止まってしまう児童もいた。表現の領域における児童の実態を客観的に把握するため、次のようなアンケートを2学期の初めに行った。結果は次の通りである。

Aとても当てはまる Bまあまあ当てはまる Cあまり当てはまらない D全く当てはまらない (%)

	A	B	C	D
1. 図工の時間が好きである。	57	43	0	0
2. 絵を描くことが好きである。	50	36	14	0
3. 工作（立体物）が好きである。	57	36	7	0
4. 何かを見て描いたりつくったりすることが好きである。	43	50	7	0
5. 自分で想像しながら描いたりつくったりすることが好きである。	64	29	7	0
6. 自分の作品をみんなに紹介することが好きである。	14	50	29	7
7. 友だちの作品を見るのが好きである。	64	36	7	0

アンケートの結果から、本学級の児童は、物をつくることについて意欲的で、表現することのできる児童がほとんどである。しかし、自分の作品を言葉にして他の人に表現することが苦手な児童が多い。そのため、どのようにしたら良いか迷った時に先に進めないことがある。その時に、他の児童の表現に触れて、さらに自分のイメージを広げて作品を仕上げていくことができるように、表現活動に入る最初の時から、友達と自分の作りたいたいイメージや工夫したところなどを交流しながら活動のできる雰囲気作りを行っていく。また、つくっている途中で交流の場を意図的につくって友達の作品に触れ、自分とは違う面白い表現や技能を発見する場を設定する。授業の最後には、振り返りカードで自分の活動を振り返り、その後全体で振り返った自分の作品の思いやイメージを伝え合い、次時に向けてのヒントを他の児童からもらうことのできる場を設ける。



## 指導（「みる」・「かく」・「つくる」）のポイント

指導に当たっては、導入では、しっかりと目をつむって音楽を聴かせ、どんな曲調の音楽に感じたかを一人一人がもてるようにする。曲調を絵に表していく際には、色・点・線の形や太さなどに着目して「音楽」をかくことができるように声かけを行う。

本時の1曲をかいていく時には、初めに前時に行ったさまざまな曲調をかいたイメージピクチャーカードを用いて、どのように「音楽」をかいていくかイメージをもつことができるようにする。また、絵をかいていく時間の間は曲を常に流し、児童が聴いたものを表現できるようにする。イメージを表現する時には、家・花・人などの実際に目に見える具体物ではなく、色や線の形等を大切にしておくようにする。また、色についてはもともとの混色を使うのではなく、「白・赤・青・黄」だけを使い、工夫して混色をしながら自分の表したい音楽を表現していく。

## 題材の目標及び評価規準

### 【題材の目標】

- 「音楽」という目に見えないものを、「流れ」や「動き」、「リズム」「色の組み合わせ」などを考えた絵に表す活動を通して、自分らしい感性や表現力を身に付けることができる。

## 【評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・音楽を聴いて絵で表現することに興味をもち、意欲的に活動している。	・音楽を聴いた印象を、流れや動きやリズム、色の組み合わせを考え、効果的な表現を構想している。	・表したいイメージに合わせて、音楽を表す方法や技法を、自分なりの表し方を見つけてつくっている。	・友達の作品を鑑賞することを通して、そのよさを味わったり共感したりしている。

## 指導と評価の計画

(全4時間)

次	学習内容	評価の観点				評価規準 (評価方法)
		関	発	創	鑑	
1 (1)	・音楽を聴き、どんな曲調の音楽かをイメージピクチャーカードにかく。	◎				・音楽を聴いて絵で表現することに興味をもち、意欲的に活動している。 (行動観察・作品)
2 (2)	・音楽のイメージを「白・赤・青・黄・緑」を使って、絵の具で表現する。 2 / 4 (本時)		◎		○	・音楽を聴いた印象を、流れや動きやリズム、色の組み合わせを考え、効果的な表現を構想している。 (行動観察・作品) ・表したいイメージに合わせて、音楽を表す方法や技法を、自分なりの表し方を見つけてつくっている。 (行動観察・作品)
3 (1)	・互いの作品を見合ったり、自分の作品について説明したりする。				◎	・友達の作品を鑑賞することを通して、そのよさを味わったり共感したりしている。 (発言、ワークシート)

## 本時の学習

### (1) 本時の目標



音楽を聴いて、その曲のイメージを、絵の具の色や線の形を中心に考え、自分なりの感性で表現することができる。



### (2) 準備物

(教師) ワークシート、画用紙、ピクチャーカード

(児童) 水彩絵の具一式、ピクチャーカード

(3) 本時の学習展開

学習活動	◇指導上の留意点 (◆Cと判断される児童に対する手だて)	評価規準 (評価方法)
<p>1 曲を聴いて、どんなイメージの曲かを出し合う。</p> <p>線の形は、「なみなみ」や「ぐるぐる」「ギザギザ」の線がありました。</p> <p>形は、「まる」「四角」「三角」「星型」がありました。</p>	<p>◇曲のイメージを交流し、どんな絵をかいていくかイメージをもつことができるようにする。</p>  <p>◇1人で考えるのが難しいようであれば、ペアやグループなど複数で話し合いができるようにする。</p>	<p>色は「赤・青・黄・白」を使って色を作って描きました。</p>
<p><b>音楽を筆の使い方や色で自分流に表してみよう！</b></p>		
<p>3 絵の具で音楽を表現する。</p> <p>ここから音楽が少し元気になってきたから、線の形を変えて、色も明るい色にしよう。</p>	<p>◇筆に含ませる絵の具の量や水の量について、どの程度にすると良いか、考えながら試しながら活動するよう声掛けを行う。</p>  <p>◇「白・赤・青・黄」だけを使い、工夫して混色をしながら自分の表したい音楽を表現していく。</p> <p>◇児童の表現の幅を広げることができるように、色と線の形や太さ等に注目して考えるよう声かけを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いた印象を、流れや動きやリズム、色の組み合わせを考え、効果的な表現を構想している。(行動観察・作品)</li> <li>・表したいイメージに合わせて、音楽を表す方法や技法を、自分なりの表し方を見つけて作品を描いている。(行動観察・作品)</li> </ul>

<p>この曲は全体的に、弾んでいる曲だから、色々な形をバラバラに描いてみよう。</p> <p>同じ曲を描いていても色や線の形など、描き方がみんな違うなあ。どんなイメージで描いたのかなあ？</p>	 <p>◇児童が曲のイメージを膨らませることができるように、絵をかいている最中には音楽を流し続ける。</p> <p>◇児童の様子を見て、途中鑑賞の時間を班ごとに入れ、どんな曲のイメージで、それを表現するためにどんな工夫をしたのかを交流する。</p>  <p>◆何をつくりたいか思いつかない児童には、画用紙を見て一緒に話をしたり、友達の作品を見たりして、つくりたいものへのイメージがもてるようにする。</p>	
<p>4 片付けをする。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>◇作品を机の上に置き汚さないように気を付けて、絵の具等を全て片付ける。</p> <p>◇本時の課題に対する振り返りを、実物を見ながらワークシートに書く。</p>	
<p>○色や形に気を付けて、音楽をかくことができた。</p>		
<p>6 本時を振り返り、次時へつなげる。</p>	<p>◇次の作成に向けてさらにイメージを広げられるよう、友達の作品なども見ておくよう伝える。</p>	

【◎成果と●課題】

- ◎音楽科との関連を図ることができ、授業で扱った曲をより深めることができた。
- ◎活動時の隊形を円にしたことで、周囲の児童の作品を見たり、困った時に話したりするなど、児童たちが関わり合いながら進めることができた。
- 今回選んだ曲が全て同じような楽器で演奏されたものであったので、曲ごとの変化が分かりにくかった。
- 導入時に前時に行った学習のピクチャーカードを出してしまったために、児童の作品の色合いが似たようなものになってしまった。